

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 ( 新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持 )

1 事務事業の基本情報																	
位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																	
事務事業名	フィルムコミッション推進経費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計		款	7	項	1	目	3	事業	4
担当部	経済環境部	担当課	商工観光課	担当係	ロケ推進	係	作成者	平塚 道治	内線(電話番号)	2440	シート作成日	H30.6.1	部長決裁日	H30.6.6			
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : )			根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 : ) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : )													

2 事務事業の目的															
当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。															
現状課題	市のPR及び、経済効果の目的で作られた組織であるが、現状、ロケ地の相談対応並びにロケ当日の立会いが主たる業務となっており、事務的作業は、皆無に等しく、費用対効果にも限界がある。なお、市のPRが目的にはなっていないが、常総市を題材にしたロケがなく、また、大きな作品のロケがないことによる情報発信の弱さなど、市をPRするのは不可能な状況である。また、経済効果であるが、行政財産使用料としての収入はあるが、宿泊代・飲食代については、一人に入ると、市に入る税金は微々たるものである。H29実績: 行政財産使用料3,579,380円+市税約300,000円-人件費13,753,670円=△9,874,290円となり、人件費が大幅に上回っている。			誰・何を対象に	組織及び職員の配置			どのような方法・手順で	人件費削減のため、組織を縮小または廃止し、現場(ロケーションハンティング・ロケ立会い)については、再雇用職員を利用または、行政財産管理課にて対応するなどし、人件費の削減を行う。			望ましい状態	再雇用職員の登用や行政財産管理課での対応、将来、NPO法人等による民間主導による運営が望ましいと考える。喫緊の課題は、人件費の支出と、行政財産使用料収入及び税収のバランスを整える。		

3 事務事業の主たる成果指標														
数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	行政財産使用料	単位		目標値	現状維持	目標年次	平成 31 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	撮影本数が減少の中、唯一の収入である。行政財産使用料を現状維持する。					

4 事務事業の実績 ㊦																					
当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																					
年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度														
	業務名			業務名			業務名			活動量											
事務事業を構成する主な業務	①	撮影相談	148	①	撮影相談	166	①	撮影相談	179												
	②	ロケーションハンティング	130	②	ロケーションハンティング	171	②	ロケーションハンティング	135												
	③	撮影	79	③	撮影	79	③	撮影	63												
	④			④			④														
	⑤			⑤			⑤														
	⑥			⑥			⑥														
	⑦			⑦			⑦														
	⑧			⑧			⑧														
	⑨			⑨			⑨														
	⑩			⑩			⑩														
	⑪			⑪			⑪														
	⑫			⑫			⑫														
	目標値に対する実績値			目標値に対する実績値			目標値に対する実績値														
決算額	計	289,304 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	289,304 円	計	450,047 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	450,047 円	計	584,539 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	584,539 円
	(住民一人あたりの行政コスト)			5 円			(住民一人あたりの行政コスト)			7 円			(住民一人あたりの行政コスト)			10 円					

5 担当者評価 ㊧													
実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	目標どおり	成果内容	成果指標の行政財産使用料収入は、目標通り達成されているが、撮影本数及び撮影場所によって左右される。また、常総市を題材にした映画等が制作されず、市のPRをできないのが現状である。なお、人件費が行政財産使用料及び税収を大幅に上回っているのも現状である。 H29年度実績: 行政財産使用料3,579,380円+市税約300,000円-人件費13,753,670円=△9,874,290円										
問題点	人件費が行政財産使用料及び税収より大幅に上回っている為、喫緊に再任用職員の登用または、行政財産管理課での対応の必要があると考える。												

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨													
担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	成果指標である行政財産使用料は、撮影依頼の数に左右され、人件費の面も考えると、来年度の機構改革により、フィルムコミッション推進室を廃止し、新たに(仮称)観光フィルムコミッション推進室を設置、人員についても見直しを図り、ロケ推進係と観光係の2係を中心に、観光とロケをつながるようにし、当市の観光PRになるように、積極的なロケ誘致、誘客施策、広報活動を観光施策と合わせて展開することが必要である。またロケ対応の内容も再検討し、時間外勤務を極力減らす仕組みが必要である。												

7 実施計画 ㊩													
今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度						
事業内容	・撮影相談 ・ロケーションハンティング立会い ・撮影立会い ※事業見直しの調整 行政財産使用料 3,579,380円 税金収入 300,000円 人件費 △16,221,972円(主査級職員の配置による増額) 差引 △12,342,592円			・撮影相談 ・ロケーションハンティング立会い ・撮影立会い 再雇用職員又は行政財産担当課にて実施 縮小の場合 行政財産使用料 3,579,380円 税金収入 300,000円 人件費 △11,086,245円(例:主事+再任用職員2名配置) 差引 △7,206,865円			・撮影相談 ・ロケーションハンティング立会い ・撮影立会い 再雇用職員又は行政財産担当課にて実施 縮小の場合 行政財産使用料 3,579,380円 税金収入 300,000円 人件費 △7,442,605円(例:主事+再任用職員1名配置) 差引 △3,563,225円						
	※廃止の場合は、財産管理課での業務となるため、事務量は増加するが、人件費は限りなく0に近くなると考える。												
	※廃止の場合は、財産管理課での業務となるため、事務量は増加するが、人件費は限りなく0に近くなると考える。												
	※廃止の場合は、財産管理課での業務となるため、事務量は増加するが、人件費は限りなく0に近くなると考える。												
予算額	歳出	計	461 千円	歳出	計	461 千円	歳出	計	461 千円				
		特定財源	千円		特定財源	千円		特定財源	千円				
	歳入	一般財源	461 千円	歳入	一般財源	461 千円	歳入	一般財源	461 千円				
		計	461 千円		計	461 千円		計	461 千円				

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については平成30年度の一般財源予算額の金額から縮小した金額での予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													
9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。人件費が行政財産使用料収入を上回っているという現実があるならば、当然見直しに賛成である。市の観光には結びつきにくく、市のPRと期待せずに他の事業で観光業に注力するべきである。この膨大な人件費を市のPR費と考えるのであればそれなりの費用対効果の検証が必要であり、このまま継続することは困難であると考えられる。													
10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	フィルムコミッションを立ち上げた当初は、ロケ誘致活動を推進して、常総市フィルムコミッションの名前が定着してきた。PR活動においては、当初の目的を達成してのではないかと考える。今後は、単なるロケ誘致推進活動ではなく、観光PRになるような誘致活動に切り替えていくべきである。												
11 事務事業の改善理由 ㊫													
実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容	最終評価を踏まえて、観光係・フィルムコミッション推進室を統合し、観光フィルムコミッション推進室とし、観光PRにつながるロケ誘致を行うことが望ましい。なお、行政財産については、所管課がロケ立会い等を行い、観光PRに力を入れていくことが必要と考える。ただし、機構改革が示されてないため、上記の案が実現されなければ、費用対効果(人件費)が実現されない。												